



2024年10月25日

各 位

上場会社名 井村屋グループ株式会社

代表者名 代表取締役社長 大西 安樹

(コード番号 2209 東証プライム・名証プレミア)

問合せ先 取締役副社長ファイナンス室長 富永 治郎

(TEL 050-1791-2014)

2025年3月期 第2四半期（中間期）連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績の動向等を踏まえ、2024年5月9日に公表いたしました2025年3月期第2四半期（中間期）の業績予想を下記の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 2025年3月期 第2四半期（中間期）連結業績予想数値の修正（2024年4月1日～2024年9月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 中間純利益	1株当たり 中間純利益
前回発表予想 (A)	百万円 23,900	百万円 1,150	百万円 1,200	百万円 820	円 銭 62.67
今回修正予想 (B)	24,385	1,433	1,413	1,057	80.84
増減額 (B-A)	485	283	213	237	
増減率 (%)	2.0	24.6	17.8	29.0	
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2024年3月期第2四半期)	22,979	1,104	1,378	954	72.91

2. 修正の理由

2025年3月期第2四半期（中間期）の連結業績につきましては、売上面では夏場の主力商品「あずきバー」シリーズが好調に推移し上期において過去最高の売上本数2億65百万本を記録しました。菓子カテゴリーにおいても災害対策への関心度が高まる中、長期保存が可能な「えいようかん」の売上が増加しました。また、冷凍和菓子の新商品「井村屋謹製 たい焼き（つぶあん）」が好評をいただき売上増加に貢献しました。利益面では、原材料価格が高止まりし、物流コストが上昇しておりますが、一部商品の価格改定を実施するとともに継続した生産性向上活動によるコスト低減により利益確保に努めました。これらの結果、売上高、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する中間純利益がそれぞれ2024年5月9日に公表いたしました業績予想を上回る見通しとなりました。

なお、通期の連結業績予想につきましては、物流コストの上昇や不安定な為替の影響など、事業環境は先行き不透明な状況が続いている事を慎重に考慮し、2024年5月9日に公表いたしました予想値に変更はありません。今後の動向に応じて業績予想の修正が必要となった場合には速やかに公表いたします。

注) 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により該当予想値とは異なる結果となる可能性があります。

以 上